# 就労継続支援B型事業所 選びの盲点

## 送迎・昼食サービス： 失敗しないための確認ガイド

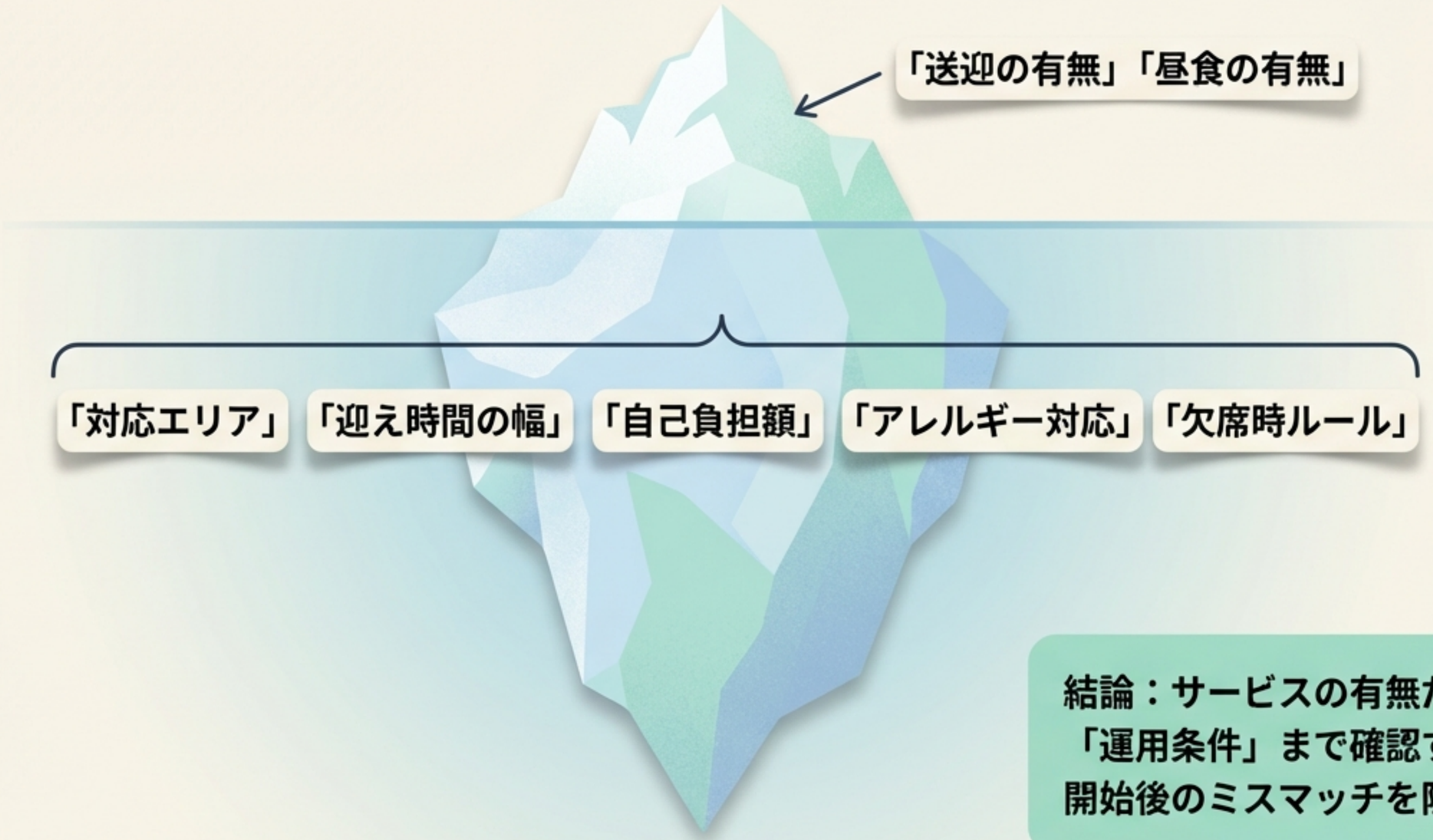






NotebookLM

# 「送迎あります」「昼食出ます」の言葉だけで決めていませんか？




結論：サービスの有無だけでなく
「運用条件」まで確認することが、
開始後のミスマッチを防ぐ鍵です。

NotebookLM

# 送迎サービスは「自分の生活圏と時間」に合っているか



**対応エリア:**
全エリア対応とは限りません。自宅がルートに入っているか確認を。



**迎え時間の幅:**
通院や家族の予定と重なることがあるため、時間帯の事前確認が重要です。



**欠席連絡の締切:**
いつまでに連絡が必要か、ルールを把握しておきましょう。



**体調不良時の対応:**
当日朝に体調を崩した際のフローを確認します。

NotebookLM

# 施設送迎が合わない場合の「第2の選択肢」



公共交通機関の練習
（事業所と一緒に代替手段として検討）



家族送迎
（無理のない範囲でのサポート）



移動支援制度の活用
（福祉制度を利用した通所）

**施設送迎の条件が合わなくても、通所を諦める必要はありません。**

NotebookLM

# 昼食は「午後の体力」と「家計」に直結する





**費用と自己負担額：**
**1食あたりの自己負担額はいくらか？**

**提供日：**
**毎日提供されるのか、一部の曜日のみか？**

**アレルギー対応：**
**除去食の範囲や、持参対応のルールは？**

**昼食の有無は午後の体力に影響しやすく、通所継続の重要なカギになります。**

NotebookLM

# 利用後の不安をなくす「月次コスト」の見える化




通所費用全体を「月単位」で試算しておくことで、
家計への影響を事前に把握し、安心して通所を開始できます。

NotebookLM

# 【事例】条件の再調整で通所リズムが安定した40代男性

## BEFORE



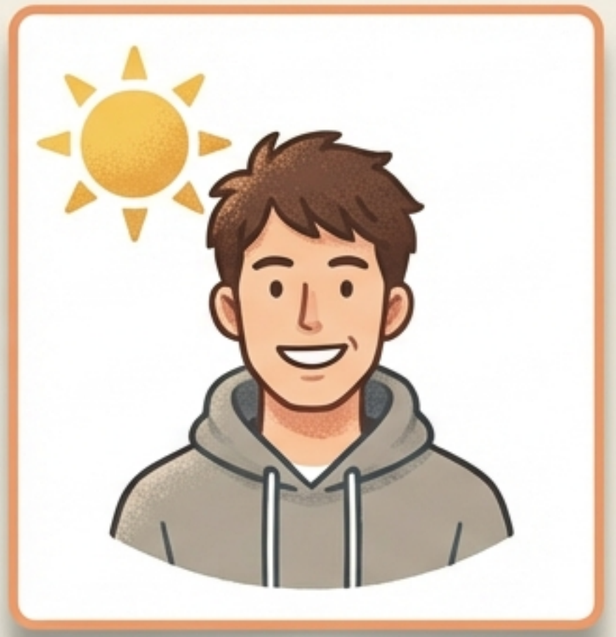
送迎時間が想定と合わず、
通所開始後に負担が増加。
「通うこと自体」に
疲弊してしまう。

## ACTION



ルートと時間を再調整し、
昼食提供日も積極的に
活用する計画に変更。

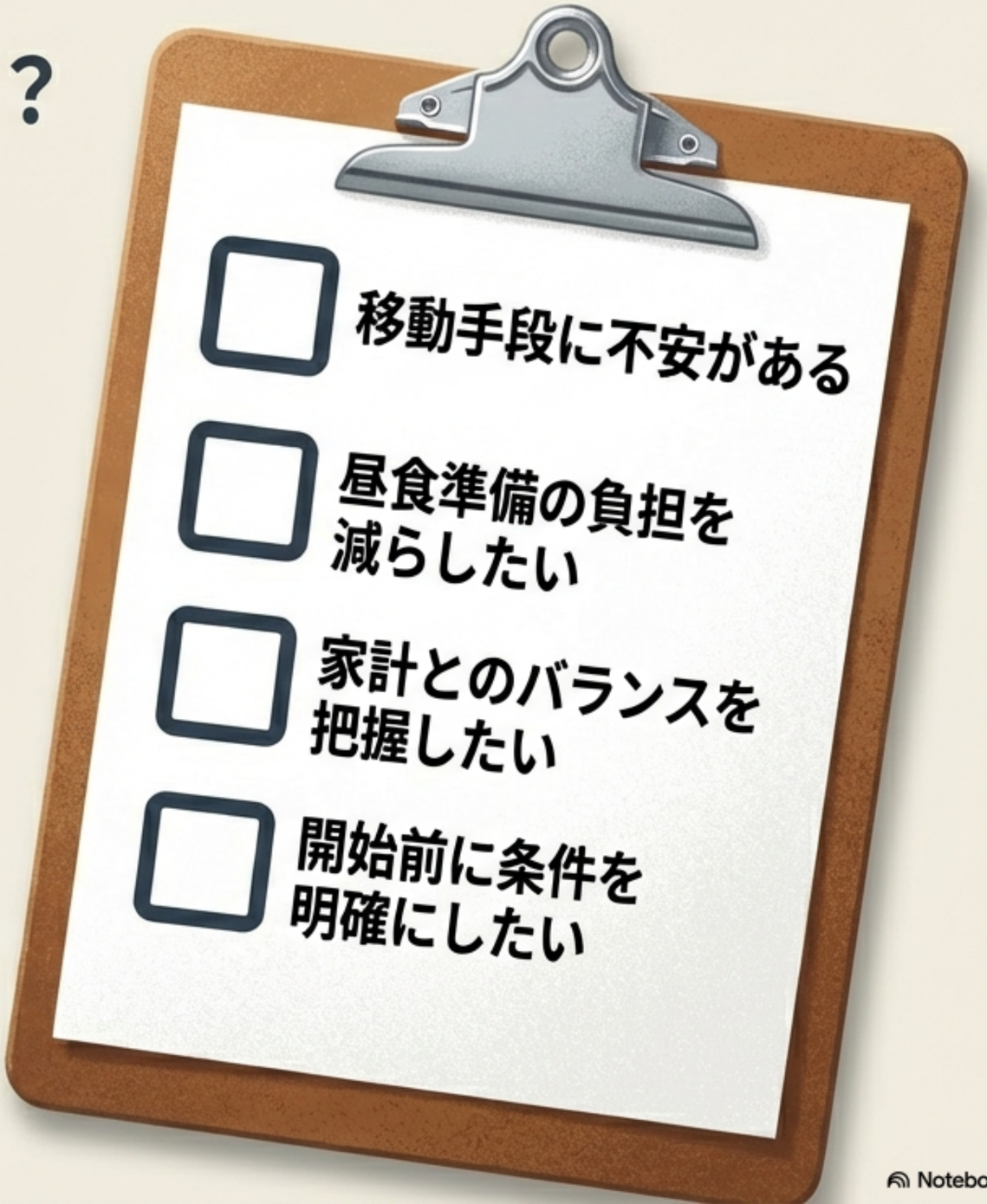
## AFTER



通所リズムが安定。
無理のないペースで
継続が可能に。

NotebookLM

# あなたの「負担」はどこにある？
# 利用前のセルフチェック




1つでも当てはまった項目は、
通所を続けるための重要な「調整材料」です。
見学時の相談テーマにしましょう。

NotebookLM

# アイデンドの約束：サービスを「あなたの生活」に合わせる



- 見学時に運用条件（時間・エリア・費用）を明確化
- 交通費や昼食費を含めた、家計のバランス相談
- 本人の生活リズムに合わせた、無理のない利用計画の策定

送迎・昼食の有無だけでなく、生活全体に合う運用かどうかを事前の面談で丁寧に見極めます。

NotebookLM

# 「使えるか」ではなく「どう使うと負担が減るか」



送迎や昼食は、使えるかどうかより
『どう使うと負担が減るか』が大切です。
細かい条件まで一緒に確認して、
開始後のズレを減らしていきましょう。

- アイデンド 支援員

NotebookLM

# 通所の土台を作る「最初の14日間」アクションプラン




**【送迎の確認】**
送迎の時間帯と乗降場所を確認し、朝の不安が減る導線を決める。

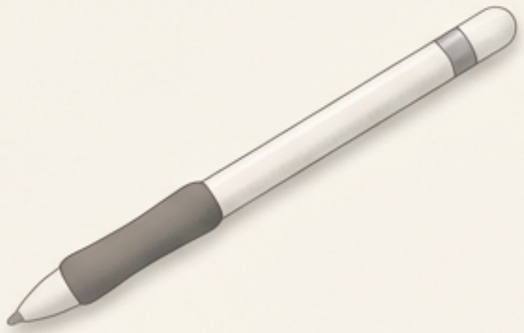
**【昼食と体調の記録】**
昼食後の眠気・体調変化を記録し、食事の量や内容を調整する。

**【すり合わせ】**
送迎担当者・支援員と短い振り返りを行い、時間と食事の両面を微調整する。

**遠慮せず、使い方を具体的に調整することが長期継続の鍵です。**

NotebookLM

# 自分に合った通所を見つけるための「共有メモ」



生活導線が整うと、作業に使えるエネルギーが自然と増えていきます。このメモを支援員に見せてください。

送迎で困った点: [待ち時間 / 乗車人数 / 連絡の取りやすさ]

昼食後の状態: [午後の作業に集中できた / 眠気が強い / 胃が重い]

次回に向けた調整希望: [送迎時間の変更 / 昼食の量 / 持参への切り替え]

NotebookLM

# 長期的に安定して通うための3つの鉄則

1



提供有無だけでなく
「運用条件」を
必ず確認する

2



交通費・昼食費を含めた
「月次コスト」を
事前に試算する

3



自分の「生活リズム」に
合う運用を選ぶ

今の状態に合う方法を選び直しながら進めることが、安心への近道です。

NotebookLM

# よくある疑問（FAQ）

**Q. 送迎は無料ですか？**

A. 事業所や自治体の運用で異なります。見学時に対象範囲・費用・時間帯を具体的に確認しておくのが確実です。

**Q. 昼食は毎日提供されますか？**

A. 提供日や自己負担額は事業所ごとに違います。1週間の提供パターンを確認して、生活リズムに合うか見てください。

**Q. アレルギー対応は可能ですか？**

A. 対応可否は事業所によります。除去食の範囲や持参対応のルールを事前に相談すると安心です。

NotebookLM